

関西大学 教育開発支援センター (CTL)

目的

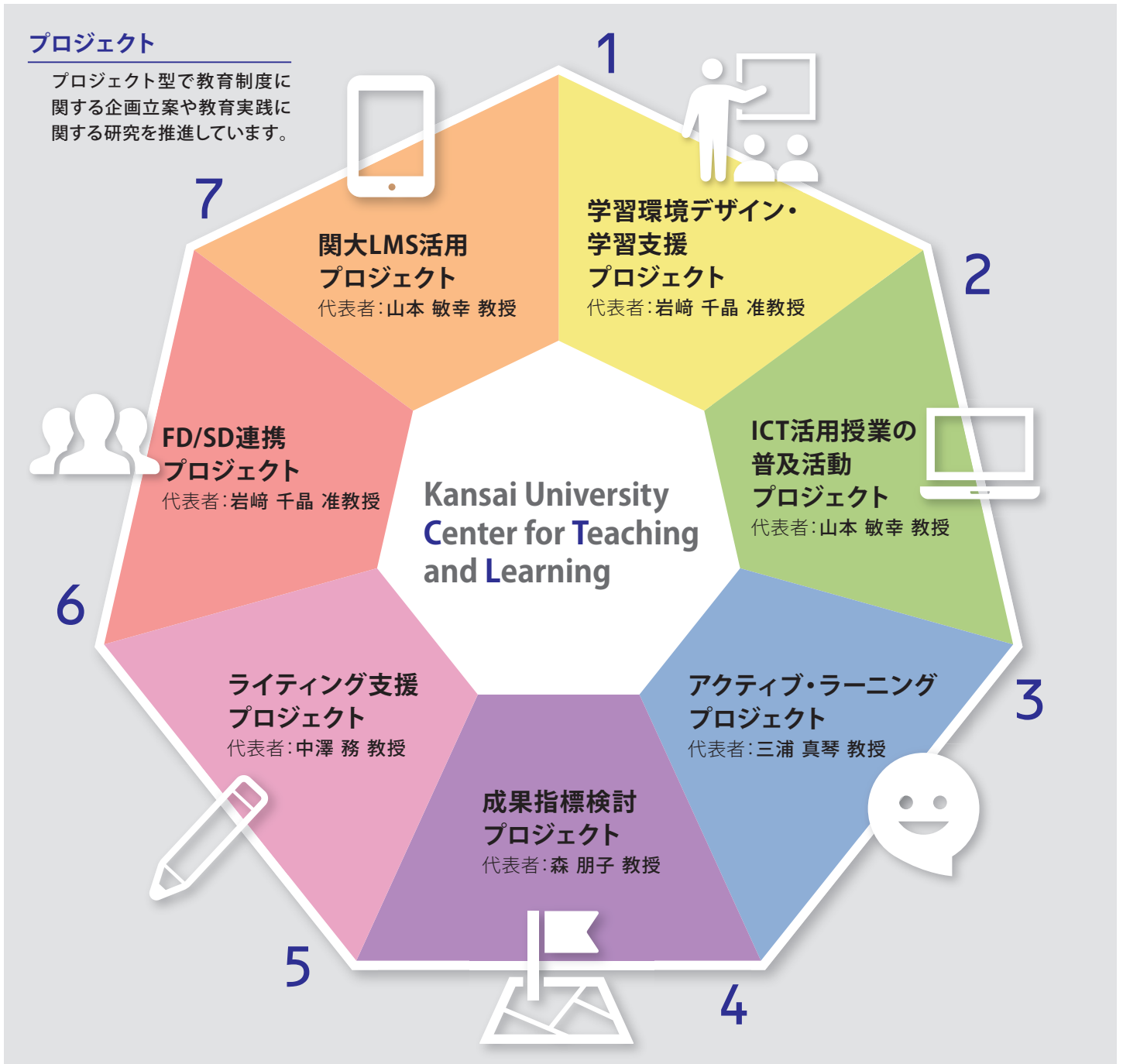
本学における教育の質的向上に向けた全学的な教育支援体制に係る諸施策の企画・開発及び推進を図るとともに、組織的かつ継続的に教育内容及び教育方法の改善 (FD活動) を行い、本学の教育の発展に寄与すること。

業務

- ・ 教育内容・方法の改善の支援及び推進
- ・ 教育効果の評価方法の開発及び実施
- ・ 教員の教育力向上の支援及び推進
- ・ 全学的な教育システムの調査及び開発
- ・ 教材開発・改善の支援及び推進
- ・ 授業に関わる相談・改善
- ・ 授業に関わるスタッフ (TA、LA等) の資質向上支援
- ・ 教育環境向上のための研究及び調査
- ・ 教育内容・方法に適した教育施設・設備の立案、管理
- ・ 大学教育に関する学内外の情報、図書、資料の収集及び分析並びに情報の発信
- ・ その他センターの目的達成のために必要な事項

プロジェクト

プロジェクト型で教育制度に関する企画立案や教育実践に関する研究を推進しています。



学習環境デザイン・学習支援プロジェクト

1

代表者：岩崎 千晶 准教授

学習環境デザイン・学習支援プロジェクトでは、本学の学習環境・学習支援のデザインと運営を行っています。学習環境に関しては、ラーニング・コモンズなどの学びの場をよりよいものにするための企画や調査を実施しています。また、学習支援については、授業内での学習を支援するTeaching AssistantやLearning Assistantといった制度において、学生の教育力を十分に活かすための運用を行っています。また、Learning Caféなどの授業外講座の企画も行います。このように、授業内と授業外の双方における学生の学びを促進し、充実させるための活動を積極的に展開しています。

プロジェクト紹介

ICT活用授業の普及活動プロジェクト

2

代表者：山本 敏幸 教授

これからの社会を生き抜く関大人には、Lifelong Active Learnerとしての素養と信頼を得るためのAdvanced CommunicationのためのICTリテラシーが必須となります。ICT活用授業の普及活動プロジェクトでは、アクティブ・ラーニングを促すシンキングツールやICT活用の普及・啓蒙を目指していきます。Office365やドロップボックスといった、学内にあるICT機器及びサービスの活用を促進する教員向けあるいは学生向けのセミナーを開催したり、授業におけるICT活用の相談やコンサルティングも随時行ったりします。

アクティブ・ラーニングプロジェクト

3

代表者：三浦 真琴 教授

アクティブ・ラーニングプロジェクトでは、本学においてアクティブ・ラーニングが浸透することを願って、学生の学習が主体的、活動的なものになるような知見や情報の提供・共有あるいは創出に尽力しています。特に、2014年度に文部科学省大学教育再生加速プログラムに採択された取組「21世紀を生き抜く考動人<Lifelong Active Learnerの育成>」において、これまで取り組んできたLearning Assistantの活用と育成を精力的に継続するとともに、交渉学を大きな柱とした取組により、創造的な思考と責任ある行動を実践していく社会人の基礎力の涵養を目指しています。

成果指標検討プロジェクト

4

代表者：森 朋子 教授

成果指標検討プロジェクトでは、教学IRの推進と初年次教育に関するコモン・ルーブリックの作成といった2本柱を中心に活動を行っています。いずれも学習を評価することで教育改善を目指すものですが、評価にとどまらず、その結果を学生が自らの学習状況を把握できるツールとして活用できることを目指します。このように、学習の評価を直接的あるいは間接的に活用することにより、学生の学びを総合的にサポートするあり方を検討していきます。

ライティング支援プロジェクト

5

代表者：中澤 務 教授

ライティング支援プロジェクトでは、2012年度に文部科学省大学間連携共同教育推進事業に採択された「〈考え、表現し、発信する力〉を培うライティング/キャリア支援」で行われてきた取組を継続・発展させることを目的としています。学内6ヶ所に設置された「ライティングラボ」におけるライティング支援を中心に、各学部の授業との連携や、「文章表現ワンポイント講座」などのセミナーも開催するなど、学生のアカデミック・ライティング能力を育成する仕組みを多面的に整備し、運用しています。

FD/SD連携プロジェクト

6

代表者：岩崎 千晶 准教授

2017年4月に大学設置基準が改正され、Staff Development (SD)が義務化されました。ここでいうSDとは教育職員と事務職員の双方を含むものです。FD/SD連携プロジェクトでは大学における諸取組を両者がともによくしていくための能力育成に取り組みます。具体的には、「三者協働型SD研修プログラム」を企画し、2017年春学期から実施しています。教育職員、事務職員に加え、学生も同じ場で研修プログラムに参加することにより、立場や部署を超えた教え合いと学び合いが生成されています。

関大LMS活用プロジェクト

7

代表者：山本 敏幸 教授

関大LMS活用プロジェクトでは、2016年度から本学で運用されたLMS(Learning Management System)である「関大LMS」の活用を促進するための諸取組を行っています。具体的には、「日常的FD懇話会」や「ランチョンセミナー」などの場で、授業準備や運営に役立つ活用法を紹介するとともに、教員や学生からの問合せ対応や、授業準備に活用可能なFAQ集やテンプレートの開発などを、教育推進部教員やITセンター職員、授業支援グループ職員が連携して行っています。